

## 警察署の方が交通安全指導

福井南警察署の方が学校に来られ、交通安全指導をしてくださいました。数日前、千葉県八街市で下校中の小学生5名がトラックにはねられ死傷した事故が起こっていました。このような事故が福井で発生しないよう、警察署の方が小学生に注意を呼びかけてくださいました。

下校時刻に合わせ2学年ずつにお話ししてくださいました。1・2年生には、はじめに「命は一つしかありません。お父さんやお母さんからいただいた命を大切にしてください。そのために交通ルールを守って、自分の命は自分で守る心構えでいてください」とお話しされました。登下校の合言葉として「な・わ・と・び」を紹介され、ならんで1列で歩いて、わたるときはよく見て、とび出さないようにと注意を呼びかけられました。



学校前の横断歩道には、福井南警察署のおまわりさんや地区の交通安全協会の方が立ち、安全を確認してくださいました。福井県警察のマスコット「リュウピー君」も来てくれ、横断歩道を渡る子どもたちに「ペコリン運動」を呼びかけていました。「ペコリン運動」では、歩行者が道を渡ろうとしていたときに止まってくれた車の運転手に会釈して感謝の気持ちを伝えます。交通ルールは歩行者優先ですが、お互いの思いやりと感謝の心が交通事故の防止につながるでしょう。



また、5・6年生には、体育館で自転車の乗り方について安全指導をしていただきました。3年生の時に行った自転車教室で安全な乗り方について警察署の方から教わっていますが、忘れた点もあったようで、自転車に乗る機会が増える夏休みを前にして、再確認する良い機会となりました。

